

殺菌剤

かんしょ用
チラシ

かんしょに適用拡大しました

石原 フロンサイド[®] SC・粉剤

(フロアブル)

®は登録商標

石原フロンサイド SC

農林水産省登録 第18750号 有効成分:フルアジナム…39.5%(w/w)
人畜毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)

2つの 使い方

石原フロンサイド 粉剤

農林水産省登録 第17559号 有効成分:フルアジナム…0.50%
人畜毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)

水に溶かして全面土壌散布 → 混和 → 畝立て・マルチ → 植付

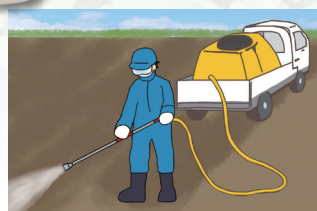
土壌に均一に散布 → 混和 → 畝立て・マルチ → 植付

薬剤を散布する前に
ていねいに耕起と碎土を行い
整地してください。

薬剤の上手な使い方

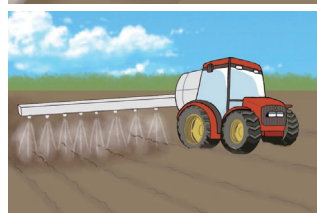
薬剤を散布する前に
ていねいに耕起と碎土を行い
整地してください。

1. 耕起・整地



動噴による散布

⚠ 薬剤にかぶれのおそれ
があるため注意事項を
必ずご覧ください



スプレーヤー による散布



ていねいに混和して
整地してください

2. 薬剤散布

土壌に均一に
散布してください

散布器などによる散布



ソーワを使えば同時に
散布・混和が可能です



ていねいに混和して
整地してください

3. 混和

4. 畝立て・ マルチ

畝立同時施肥機・成型マルチャーなどの機械で
畝立てをしてください。フロンサイドSC処理後、
ガス抜き等は不要ですので速やかに作業が可能です。

畝立同時施肥機・成型マルチャーなどの機械で
畝立てをしてください。フロンサイド粉剤処理後、
ガス抜き等は不要ですので速やかに作業が可能です。

健全苗・消毒した苗を植付けてください。

5. 植付

健全苗・消毒した苗を植付けてください。

使用上の注意
(抜粋)

- 全面散布土壌混和で使用する場合、所定量の薬量を均一に散布し、土壌と十分に混和してください。
- 降雨直後の処理は混和ムラの原因となるのでさけてください。

使用上の注意
(抜粋)

- 本剤を使用する場合、碎土をよく行った後、所定量の薬剤を均一に散布し、土壌と十分に混和してください。
- 降雨直後の処理は混和ムラの原因となるのでさけてください。

◆適用病害と使用方法(抜粋)

フロンサイド SC	作物名	適用病害名	10アール当り使用量		使用時期	使用方法	本剤およびフルアジナムを含む農薬の総使用回数
			薬 量	希釈水量			
	かんしょ	基腐病	500mℓ	200ℓ	植付前	全面散布土壌混和	1回

フロンサイド 粉剤	作物名	適用病害名	10アール当り使用量		使用時期	使用方法	本剤およびフルアジナムを含む農薬の総使用回数
			40kg				
	かんしょ	基腐病	40kg		植付前	全面土壌混和	1回

サツマイモ基腐病の体系防除例 防除の基本は「持ち込まない」「増やさない」「残さない」

★病原菌イメージ図



- 苗がすでに感染している場合はフロンサイドSC・粉剤を使用しても効果が期待できません。必ず健全苗を使用してください。
- フロンサイドSC・粉剤の土壌混和で効果を発揮できるのは土壌からの一次感染のみで、その効果はおおむね2ヵ月程度です。フロンサイドSC・粉剤の土壌混和後もサツマイモ基腐病に有効な薬剤の散布を継続して行うなど体系防除に努めてください。
- 前作、サツマイモ基腐病の発病が多かった圃場では十分な効果を発揮できない場合があります。

サツマイモ基腐病 委託試験成績

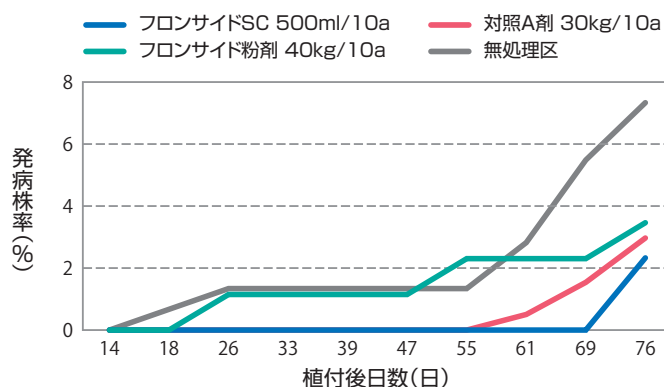
試験場所 鹿児島県農業開発総合センター(2020年)

品 種 コガネセガン 発生程度 少発生 植付日 5月21日

処理日 5月20日(フロンサイドSC, フロンサイド粉剤)
4月24日(対照A剤)

調査方法 植付14, 18, 26, 33, 39, 47, 55, 61, 69, 76日後に試験区すべての株に対して株基部の見取りによる発病状況を調査し、発病株率を算出した。

フロンサイドSC、フロンサイド粉剤の処理区は、無処理区に対して効果が認められた。(土壌の罹病残渣由来の一次感染の抑制効果)



サツマイモ基腐病菌に対するポット試験結果

試験場所 石原産業(株) 中央研究所(2021年)

品 種 鳴門金時

供試菌 *Diaporthe destruens*

区制・面積 1/5000a ワグネルポット 1区3株、2連制

接種方法 試験には土壌中のサツマイモ罹病残渣による一次感染を想定し、定植時に菌株を培養したサツマイモスライスを土壌に混ぜた。

処理日 2月5日 全面土壌混和処理、植付

調査方法 植付後60, 75, 90, 104, 120日に株基部の見取りによる発病状況を調査し、発病度を算出した。

試験薬剤名と処理量	植付後日数と発病度				
	60日	75日	90日	104日	120日
フロンサイドSC 500ml/10a	0	0	0	0	22.2
フロンサイド粉剤 40kg/10a	0	0	5.6	22.2	55.6
無処理区	33.4	100	100	100	100

ポット試験での基腐病一次感染に対するフロンサイドの残効性はフロンサイドSCで100日程度、フロンサイド粉剤で75日程度の効果が確認された。

⚠ フロンサイドSC安全使用上の注意事項(抜粋)

- 本剤は皮膚感作性を有し、皮膚かぶれ等を生じることがあるので、以下の点に注意してください。
 - かぶれやすい体質の人および本剤または他剤においてかぶれた経験のある人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触はさけてください。
 - 使用後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするともに衣服を交換してください。
 - 薬液調製時および使用の際は帽子、保護メガネ、防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣、ゴム長靴などを着用するとともに保護クリームを使用してください。
 - 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
 - 高温、多湿時に長時間の使用および作業はさけてください。

⚠ フロンサイド粉剤安全使用上の注意事項(抜粋)

- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意してください。

● 使用前にラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

※イラストはイメージです。

